

平成23年度事業報告

平成23年度の中小企業の経営環境は、原発問題に伴う電力不足、円高等を背景とした海外生産の進展に伴う受注の減少など厳しさが加速している感があります。また、国においても経済対策が十分に尽くされず、消費税の引き上げや電力料金の値上げが検討され、日本の経済基盤を支えてきた製造業の先行きに不安を感じる一年でした。

こうした中で(社)横浜市工業会連合会としては、何よりも中小製造業と共にあって、孤立感、不満、不安の解消をすることが市工連設立の原点であり、果たしていかなければならない役割であると強く認識し、地域工業会と市工連活動との緊密な連携の観点から事業を実施いたしました。

具体的には公益法人化や既存事業等の経常業務を着実に進めることはもとより、特に近年助成金の減少により縮小してきた事業を組み立てなおし、地域工業会会員企業のニーズに合った事業の実施を目指すため、地域工業会理事の参加する委員会活動を充実し、事業計画から実施まで一貫して行ってまいりました。

お陰様で委員の出席率は常に80%を超え十分な議論ができたことは皆様のご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

またこの一方で横浜市との協議も頻繁に行い、現在は支援策を共に検討する良好な協議体制が整備されてきたと考えております。

今後とも地域工業会や関係機関団体との連携を緊密に図り、工業団体としての力を結集する役割を果たすとともに、行政と一致協力して、中小企業の振興による地域経済の活性化や雇用の安定・確保を図るよう努めてまいります。

I ものづくり活性化事業

1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

(1) 地域工業会との連携強化に向けた市工連委員会の活動

市工連としての意義が求められている中で、多くの地域工業会代表が参加し、意見交換やその結果が反映されるよう、委員会の活性化を通して課題解決に向けた活動に努めました。

ア 5委員会の開催延べ回数：18回

(委員会別開催実績等はVの総会、理事会、委員会等のとおり)

(2) 横浜市と本会との活性化施策検討会の設置

実効性のある横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに考える場を設置し、具体的、かつ実効性の高い施策検討協議を行いました。

ア 活性化施策検討会 開催実績（分科会を含む）：15回

(3) 産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、上記2の活性化施策検討会での協議を活かして、ものづくりを中心とした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、林横浜市長に「平成24年度予算に対する要望」として提出しました。

ア 提出日 平成23年10月25日（火）

イ 場 所 市役所応接室
ウ 出席者 林横浜市長、渡辺経済局長ほか
佐藤市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

- (ア)重点要望事項 2件
- ・中小企業の経営を日常的に支援する情報ネットワークの整備
 - ・市内製造業の生産活動に配慮した節電対策の検討
- (イ)局別要望事項 23件

(4)他都市工業団体等との連携

ア (社)みやぎ工業会との連携

市工連からの震災復興支援の提案に対し、みやぎ工業会より現地視察の上での現状を踏まえた協議をする旨の提案を受け、本会代表と、みやぎ工業会代表による協議会を開催しました。

(ア)現地視察・協議

- ・日 時：平成23年7月26日(火)
- ・視察場所：宮城県石巻等被災地
- ・視察後仙台市にて協議会開催
- ・出席者：(社)みやぎ工業会役員
(社)横浜市工業会連合会(会長ほか、各地域工業会会長)

イ その他、次の団体との連携についても協議を進めています。

(ア)山梨県北杜市

(イ)山形県

(ウ)川崎市工業団体連合会

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供を行うなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1)受発注相談(横浜市委託事業)

(電話・FAX・Eメール等による受発注相談)

ア 相談件数：123件

イ 成約成立：34件、不成立：67件、次年度へ継続：2

(2)商談会等の開催(横浜市委託事業)

ア 受・発注商談会(川崎開催)

日 時 平成23年9月8日(水)9:00~16:40

会 場 川崎市産業振興会館 1階ホール

主 催 (公財)神奈川産業振興センター、川崎市、
(公財)川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、川崎信用金庫、
市工連、横浜市

参 加 357社(発注50社・受注307社)・商談件数970件

内 容 平成22年度から発注企業・受注企業とも「事前マッチング方式」により商談申込を実施しており、当日の混乱は回避されました。

イ 受・発注商談会(九都県市合同商談会 in パシフィコ横浜と合同開催)

日 時	平成24年2月1日（水）10:00～18:00
会 場	パシフィコ横浜2F アネックスホール
主 催	九都県市合同商談会実行委員会 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市、及び関係都県市の中小企業支援機関
協 力	(社)横浜市工業会連合会
後 援	経済産業省関東経済産業局、独立法人中小企業基盤整備機構関東支部、(財)全国中小企業取引振興協会
参 加	410社（発注100社・受注310社）・商談件数 1,473件
内 容	九都県市連携によるスケールメリットを活かした大規模な商談会となり、広域的な取引やビジネスチャンスの創出がなされました。日本を代表するものづくり企業が全国から発注側に参加しました。 ・主催者団体PRコーナー設置 ・BMS（Business Matching Station）紹介コーナー設置 ・相談コーナー設置 など

(3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の機能強化（横浜市委託事業）

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）をPRするとともに、会員数の拡大やサイト掲載内容の更新等を行いました。

ア 参加企業加入促進のためのPR活動と会員数拡大

「横浜ネットワークプラス」会員数のアップ：32社新規加入

イ 発注案件の登録・公開と受注企業の検索紹介

受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・掲載・更新するとともに、発注案件に対し受注企業を検索し紹介を行いました。

(4) 新製品開発の検討

通信販売事業者との連携により、中小企業の技術連携による新製品づくり、新事業分野の開拓について検討を進めました。

3 テクニカルショウヨコハマ2012

「未来につながる新たな技術」を主要テーマに、県内に立地する事業所等の技術・製品を展示して、技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催しました。

ア 開催概要

(ア)開催期間 平成24年2月1日（水）～2月3日（金）3日間

(イ)会 場 パシフィコ横浜展示ホールC・D

(ウ)出展数 413社・団体

(エ)小間数 392小間

(オ)入場者数 30,912人

イ 横浜市ブースの開催（横浜市との共同事業）

横浜市・都筑区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2012に「横浜市ブース」を開催し、地域工業会に加え、横浜青年経営者会が団体として初出展しました。

出展企業 49社1団体

ウ 記念講演会（本会主管併催事業）

（ア）日 時：2月2日（木）14：00～15：30

（イ）会 場：パシフィコ横浜2階 アネックスホール

（ウ）講 師：株式会社樹研工業 代表取締役社長 松浦元男氏

（エ）テーマ：「100万分の1グラムの歯車をつくる技術と経営理念
～人を育て、技術を育てる～」

（オ）参加者：205名

4 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修（本会自主事業）

「帆船日本丸」における甲板みがき、漕艇、登橋、結索などの訓練を含めた研修により、忍耐力や協調性、連帯感などを新入社員に体験させることを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

ア 開催日 平成23年4月14日（木）～15日（金）（1泊2日）

イ 会 場 帆船日本丸、同訓練センター等

ウ 参加者 13社 48名（男性39名 女性9名）

エ 研修内容（テーマ及び指導者・講師）

①船上訓練、カッター訓練 日本丸船長、航海士、乗組員等

②講義（社会人としての意識をもつ、ビジネスマナー、3つのプラス思考）

③グループ討議（学生時代と社会人の違い）、（理想の社会人となるために）

株式会社スリーマインド教育センター 天笠淳氏・鞠子みちる氏

④講義「海に学ぶ（シーマンシップ）」 日本丸船長 山本訓三氏

(2) 就職に関する懇談会等の開催（横浜市補助事業）

神奈川県内の高校卒業生の地元中小企業への就業を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を開催しました。

ア 日 時 平成23年6月17日（金） 14：00～17：30

イ 会 場 横浜ワールドポーターズ・イベントホールB

ウ 参 加 県立神奈川工業高校等21校23名

会員企業等17社19名、ハローワーク

(3) 工場見学会の開催（横浜市補助事業）

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、就職指導教員と学生を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を実施しました。

企業側としては株ダニエル、学校側としては神奈川県立産業技術短期大学校が初の参加となりました。

ア 実施日 平成23年7月19日（火）、8月31日（水）、
10月6日（木）、11月11日（金）

イ 見学企業 5社（日鉄工営株、横浜高周波工業株、株ダニエル、東洋測器株、
日本軸受加工株）

ウ 参加者 教員 2名、学生 3名（7月19日）

教員 1名、学生 8名（8月31日）

教員 1名、学生 4名（10月6日）

教員 1名、学生13名（11月11日）

(4) 横浜型若者就労支援事業（横浜市事業への協力）

横浜市経済局雇用労働課が行った「横浜型若者就労支援事業」について、横浜市内中小製造業をよく知る本会として専門研修・企業実習で協力し、若年層の雇用に結びつけました。募集企業、求職者ともに双方の理解を深めた上で、採用に至ることで本事業は高い評価を得ました。

- ア 求人企業数 22社
- イ 採用決定 11社 15名

(5) 技術者育成支援事業（横浜市補助事業）

市内中小製造業の多様な技術ニーズに対応できる人材育成を支援するため、民間研修機関等で実施する実技講習について、受講料の一部を補助しました。

- ア 受講事業者数 17社
- イ 受講者数 34名
- ウ 合計助成金額 852,250円

5 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

- ア ホームページの運営
緊急、重要な情報の提供に努めました。
- イ メールマガジン「市工連ニュース」の発行
平成23年4月12日 第219号発行から
平成24年3月1日 第245号発行まで 27回発行
配信先 工業会会員等約700件

(2) 機関誌の発行

- ア 機関紙「よこはま市工連」の発行
年間2回発行 7月号2,300部、1月号2,500部発行
平成23年7月（64号）、24年1月（65号）
- イ 広報誌「市工連かわらばん」の発行
年間6回発行 各回2,600部配布
平成23年5月（128号）から24年3月（133号）まで隔月発行

(3) 情報伝達の合理化

地域工業会・会員企業への情報伝達の合理化・迅速化と経費の節減を図るため、各種会議（理事会・総会、会長会議、委員会、事務局長会議）の案内等を極力電子メールで行いました。

(4) 緊急、重要情報の一斉ファックス送受信

節電対策など緊急・重要情報について、各地域工業会会員にファックスで伝えるとともに、アンケートで回答を求めるなど、情報の受伝達の手法検討実施を進めました。

- ア 送付件数 8件
うち1件でアンケートを実施

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

新たな顧客の獲得を目指し経営基盤の安定・強化に努めました。
また、展示場機能の維持管理に努め、お客様の計画達成に向け、計画に係る他業者様との連携を図りました。

2 鳥浜・試作型貸スペース（T3）事業

運営収支が赤字になり、その解消が大きな課題となるため、金沢団地協同組合の協力を得て警備・清掃委託の経費相当額約100万円節減するなど経費節減を図りましたが、抜本的解決策等について引き続き横浜市と協議していきます。

III 会員の交流を深める事業（相互扶助事業）

賀詞交歓会など会員の交流を図るとともに、ボウリング大会の開催や、「横浜市工業厚生年金基金」、「災害共済」、「労災保険」、等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。

また、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き本会独自のPL保険の加入促進を図りました。

1 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

港南区工業会設立30周年記念事業への助成、及び横浜青年経営者会の活動への支援を行いました。

2 第8回市工連ボウリング大会の開催

工業会会員並びに従業員相互の交流を深めるため、地域工業会から選出されたチームによる第8回市工連ボウリング大会を開催しました。

地域工業会からの協賛品がさらに増え、会長会並びに横浜市経済局ものづくり支援課の参加があり、交流が深まりました。

ア 日 時 平成23年11月25日(金) 19:00～

イ 会 場 新杉田ボウル

ウ 参 加 20チーム 61名

3 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」の提案により、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成24年1月13日(金)

イ 会 場 ホテルキャメロットジャパン

ウ 受賞者 4社 7名 (別表1)

IV 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めるとともに、法人制度改革に伴う公益法人認定を得るための申請準備を行いました。

V 総会、理事会、委員会等

(1) 総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月25日 (水)	第73回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度補正予算 同 事業報告 同 収支決算報告 平成23年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について など 	横浜情報文化センター
6月27日 (月)	第74回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> 理事の退任に伴う補充選任 参与の承認 総務委員会への付託 市工連委員会の正副委員長 青経会担当副会長 横浜市OB 職員の任用、労働条件の明確化 など 	ホテルキャメロット ジャパン
9月29日 (木)	第75回臨時総会	<ul style="list-style-type: none"> 会長・副会長選任方法、会長任期の原則及び副会長選任資格に係る内規の設置並びに副会長定数の定款改正 横浜市OB 職員の選任方法に関する内規及び人事・給与に関する規程の改正 経理規程の改正 公益社団法人認定申請に 定款の変更案 など 	ワークピア横浜
3月27日 (火)	第76回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> 公益法人認定申請 定款の変更 役員の報酬及び費用に関する規程 平成24年度事業計画 同 収支予算 など 	横浜産業貿易センター

(2) 理事会、会長会議、各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月13日 (水)	広報産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> よこはま市工連第64号の発刊計画 第64号掲載内容について 市工連の情報伝達方法についての検討 	横浜産貿ホール 小展示室
4月18日 (月)	事業企画・雇用環境 合同委員会	<ul style="list-style-type: none"> 東北大地震支援の検討について 義捐金について 計画停電について 	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月19日 (火)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度市工連政策要望のまとめ方について ・横浜市との政策検討会メンバーの選出依頼 	横浜産貿ホール 展示場
5月19日 (木)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第85回理事会・第73回総会の議案について ・平成22年度補正予算 ・同 事業報告 ・同 収支決算報告 	波止場会館
5月25日 (水)	第85回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度補正予算 ・同 事業報告 ・同 収支決算報告 ・平成23年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について 	横浜情報文化 センター
6月13日 (月)	事業企画・雇用環境 合同委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・節電対策 ・温暖化対策に対する設備投資支援について 	横浜産貿ホール 小展示室
6月21日 (火) ~ 9月16日 (金)	活性化施策検討会 (施策検討プロジェクト)	<p>横浜市課長職以下15人 地域工業会推薦15人 10人のグループに分け延べ15回開催</p> <ol style="list-style-type: none"> ①短期課題「エネルギー対策」 ②中期課題「中小企業にとってのBCP」 ③長期課題「中小企業の人材確保と育成」 など 	(財) 横浜企業 経営支援財団
6月27日 (月)	第86回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の退任に伴う補充選任 ・参与の承認 ・総務委員会への付託 ・市工連委員会の正副委員長 ・青経会担当副会長 ・横浜市OB 職員の任用、労働条件の明確化 など 	ホテルキャメロット ジャパン
7月25日 (月)	事業企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリング大会の評価と新規事業の検討について 	横浜産貿ホール 小展示室
7月29日 (金)	広報産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはま市工連65号発刊について ・第65号掲載内容について ・市工連の情報伝達方法についての検討 	横浜産貿ホール 小展示室
8月30日 (木)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第87回理事会、第75回総会の開催について ・理事会、総会の議案について 	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
9月29日 (水)	第87回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長選任方法、会長任期の原則及び副会長選任資格に係る内規の設置並びに副会長定数の定款改正 ・横浜市OB 職員の選任方法に関する内規及び人事・給与に関する規程の改正 ・経理規程の改正 ・公益社団法人認定申請に ・定款の変更案 など 	ワークピア横浜
9月30日 (金)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・政策検討プロジェクト検討結果報告と今後のスケジュール ・地域工業会独自要望の取り扱いについて 	横浜産貿ホール 小展示室
10月4日 (火)	事業企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域工業会会員大手企業に対する支援と会員企業への利便向上事業 ・製品開発プロジェクトの設置 ・ボウリング大会の検討 	横浜産貿ホール 小展示室
10月5日 (水)	広報産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連」方向性の提案 ・第65号の発刊計画について ・第65号掲載内容について ・市工連の情報伝達方法についての検討 	横浜産貿ホール 小展示室
10月7日 (金)	雇用環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業への従業員雇用の促進について 	横浜産貿ホール 小展示室
10月25日 (水)	工業会会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度横浜市産業振興に関する要望書の市長提出 	横浜市役所応接室
11月17日 (木)	工業会会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の活動報告 ・第28回すぐれたアイディア表彰 ・テクニカルショウヨコハマ2012 など 	シャトルパン
12月20日 (火)	事業企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の節電対策支援事業について ・大手企業との連携について ・第28回すぐれたアイディア提案者表彰者について 	横浜産貿ホール 小展示室
1月26日 (木)	広報産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま市工連」第65号の発行 ・市工連情報伝達方法についての検討 	横浜産貿ホール 小展示室
2月9日 (木)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長選任方法の透明化 ・会長就任任期の限度及び定年の設置 ・公益法人化に伴う副会長定数の見直し ・大企業懇話会設置の検討 ・他県、都市工業会等の交流の推進 ・各委員会の活動報告 など 	横浜産貿ホール 小展示室
3月14日 (水)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第88回理事会・第76回総会の議案について 	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
3月27日 (火)	第88回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人認定申請について ・定款の変更について ・役員の報酬及び費用に関する規程について ・平成24年度 事業計画について ・同収支予算について 	横浜産業貿易センター

(3)平成24年賀詞交歓会の開催

日 時 平成24年1月13日(金) 16:00～18:00
 会 場 ホテルキャメロットジャパン 4階フェアウインドウの間
 参加者数 130名

(4)地域工業会事務局長会議

事務局長会議を次の通り開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈23年〉4月20日、5月18日、6月15日、7月28日、9月22日、
 10月19日、11月16日、12月21日
 〈24年〉2月15日、3月21日

第28回すぐれたアイデア表彰受賞者

(順不同・敬称略)

NO	企業名	氏名	職名	アイデアの名称
	海洋電子工業(株)	ひろまさ かずみ 廣政 一巳	技術部 製造課	保有コネクタ管理のデータベース 化による有効活用性向上
2	海洋電子工業(株)	よしだ あつし 吉田 篤史	技術部 設計1課	カタログ販売品のコストダウン
3	海洋電子工業(株)	かわはら のぶひこ 川原 伸彦	整備部	空中線装置オーバーホール後の 追尾精度確認方法の考案
4		とよた ようじ 豊田 洋二	整備1課	
5	竹澤工業(株)	しみず のりひと 清水 礼仁	調達グループ 係長	塗装工程に起因した工程混乱の 解消とコスト低減
6	(株)野毛電気工業	こやま あきひこ 小山 明彦	リーダー	遠心乾燥機を利用した CCD パッケージ部品の乾燥
7	(株)芙蓉ビデオ エイジェンシー	ラザ ノーマン RAZA NOMAN	M&S 設計	HMV101M 商品販売売り上げ実績 効果大

(4社 6件)